



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

1、2年生、タイピングコンテスト実施！

～中学生は何文字打てれば合格！？全国統一タイピングスキル調査の結果は・・・～

10日（金）に、学習コンテストの一環として「タイピングコンテスト」を実施しました。今年度に行われた金沢市の同様の調査によると、中学2年生の平均は1分間に64文字でした。平成27年に文部科学省が実施した情報活用能力調査では、1分間のキータイピング入力の実績が小学5年生で5.9文字、中学2年生で17.4文字との結果が出ています。

ある民間会社が令和4年の6～7月に全国の児童生徒約1万3千人を対象に、学年別の1分間あたりの正しい入力文字数等を調査した結果、1分間あたりの正しい入力文字数は学年が上がるにつれ増加傾向にあり、各学年の平均値は小学1年生で19.2文字、小学5年生で49.2文字、中学2年生で60.4文字で、単純には比較はできませんが、文部科学省の調査から7年間で大幅に入力スピードがアップし、入力文字数は中学2年生で約3.5倍に増加しています。

一方で、タイピングスキルは個人差が激しく、1分間あたりの正しい入力文字数が少なく、入力速度が遅い児童生徒も各学年に一定数いるので、そのような児童生徒が苦手意識を持つことなく、スムーズにスキルアップできるように支援していく必要もあります。

本日、本校で実施した「タイピングコンテスト」では、入力文字数上位の生徒は、1年生も2年生も200文字を超えていました。ほとんど話すスピードで、入力したことになります。今の生徒は、小さい頃から家庭にPCがあったり、GIGAスクール構想で一人一台端末が貸与されたりすることで、よりキーボードに触れる機会が増え、自然とスキルアップしていったのではないかと思います。改めて子どもの順応力に感心させられました。



【コンテストを終えて結果を確認「何文字打てた?!」】

トルコ地震、死者数2万1000人を超える・・・

～トルコ、シリアでは、最大2300万人が被災した可能性～

連日のニュースで、生徒のみなさんも気になっていると思いますが、トルコ南部で6日に起きたマグニチュード7.8の地震で、トルコと隣国シリアを合わせた死者数は9日、2万1000人を超え、負傷者はトルコで7万2879人、シリアで5245人に達していると報道がありました。世界保健機関（WHO）は両国で最大2300万人が被災した可能性があるとしています。

生徒のみなさんは「72時間の壁」や「黄金の72時間」という言葉を聞いたことがありますか。「72時間の壁」とは、一般に、人が飲まず食わずで生き延びられる限界が72時間と言われ、実際に兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）において、救出者中の生存者の割合が、発生から3日を境に急減したことから、人命救助のタイムリミットを指す言葉として使われてきました。昨日でその72時間が経過しました。

日本とトルコは100年以上前から有事に助け合い、*友好を育んできた歴史があります。岸田文雄首相は8日の衆院予算委員会で、トルコなどへの追加の支援を検討する考えを示し、現地ではすでに、日本の国際緊急援助隊・救助チームの先発隊を含む、世界各国の救援隊による捜索作業が行われています。



日本赤十字HPより

※エルトゥール号遭難事件（明治23年）、イラン・イラク戦争トルコ航空機邦人救出（昭和60年）、東日本大震災トルコ緊急援助隊（平成23年）